

2003年11月23日(日曜日)

# いきいきと輝く女性・熟年農業者

女性・熟年農業者の活動を応援します

がんばっています!

一年を通じ大地の恵みから生まれるおいしい農産物がいっぱいの福井県。そんなおいしい農産物を作る現場で、女性や熟年農業者の皆さんが活躍しています。

女性は、女性ならではの感性や能力を生かして、また、熟年農業者は、優れた知識とこれまでの経験を生かして、農産物の直売や地域の特産物を活用した加工品づくり、地域の伝統や食文化の継承にも取り組み、福井県の農業を支えています。

今回の県政だよりでは、いきいきと活動する女性や熟年農業者と、その活動を支援する県の取り組みをご紹介します。



## 伝統野菜を後世に伝えたい

谷田部ネギ生産組合



大きく育った谷田部ネギを収穫

独特の栽培方法で白い部分が釣り針状に曲がる谷田部ネギ。若狭地方の伝統野菜の1つで、肉質は柔らかく甘みがあります。厳しい寒さを迎えるこれから、谷田部ネギは旬を迎えます。

この谷田部ネギを生産しているのが、小浜市の谷田部ネギ生産組合の皆さんです。伝統と風土に育まれた谷田部ネギの生産・販路を拡大し農業所得を確保しようと、平成10年、集落内の熟年農業者23人が集まりました。ブランド品として後世に伝えていきたいという気運の盛り上がりも、組合結成のきっかけとなりました。

品質を均一にそろえたり、病気や害虫への対応のため、これまでの経験、そして県農業改良普及員の指導も受けながら栽培技術を研究。また、除草や収穫など忙しい時には、お互いの畑の手伝いをするなどみんなで助け合いながら谷田部ネギを育ててきました。地元市場やスーパーへの出荷、朝市でのPR活動などメンバーの努力で谷田部ネギの評判は徐々に広まりました。昨年は雪による傷みを防ぎ、厳しい寒さの中でも作業が出来るようパイプハウスを20棟導入したことで、生産額は300万円を超えました。今年の栽培面積は、発足当初の1.8倍の180で、これから3月にかけての収穫量は約2倍の65トンを見込んでいます。

メンバーの皆さんは、「続けていくことはたいへんだけれど楽しい。健康にもいいし、みんなでやっていると張り合いがある」と話してくれました。



白い部分の曲がり特徴の谷田部ネギ



## お客さんとの触れ合いが生きがい

大渡婦人グループ



常に20～30品目の野菜が並びます

新鮮な野菜が並ぶファーマーズマーケットは、消費者の皆さんに大人気です。勝山市平泉寺町大渡にある「ふれあい市場」も、近隣市町村をはじめ、福井市や坂井郡からも訪れる常連客でにぎわっています。

この「ふれあい市場」を開いているのが、大渡（おおわたり）婦人グループの皆さんです。現在、メンバー12人が4月～11月までの間、毎日交替でお店に立ち、自分たちが作ったとれたての野菜などを販売。店内には旬の野菜や山菜、果実、花などが常に20～30品目ずらりと並んでいます。

大渡婦人グループは、昭和27年から地域で農家の生活改善に取り組んできました。昭和63年に、転作で自分たちが作った野菜を、消費者の皆さんに直接提供したいとの思いから、簡単なパイプハウスでの無人販売所を始めました。平成6年には、メンバーが出資金を出し合い、現在の場所に売り場面積6坪の直売所を構え、生産した野菜などを直接、お客さんに販売するようになりました。生産者の顔が見える安全安心な品物、季節感あふれる販売所として評判が広まり大変喜ばれています。

「お客さんと会話をしたり、交流するのが楽しみだし、野菜づくりをしてもやりがいがある。みんなもそう思っているよ」と代表の坂井芳子さんは語ってくれました。



お客さんとの会話も楽しみのひとつ



## 女性・熟年農業者の活動を応援します！



県では、地域で持てる能力を発揮し、いきいきとそしてはつらつと輝いて活動する女性や熟年農業者グループを育成、支援しています。

具体的には、生産活動の拡大や省力化、効率化のため、また農産物の直売、加工品製造・販売にチャレンジする場合に、必要となる簡易な施設、機器の整備に対して費用の一部を補助します。さらに、県民の皆さんからいただいたご意見を参考に6月補正予算で、試作品の製造や市場ニーズを把握するための調査、広告宣伝にかかる費用などソフト面への補助も新たに加え支援を行っています。

この記事に関するお問い合わせは、**県農業技術経営課 ☎ 0776 (20) 0424** までどうぞ。

 **BACK**